

2 年 国語科学習指導案(略案)

指導者 高橋 弘子

1. 単元名 句読点のひみつをみつけよう

2. 目標

○ 句読点の打ち方やかぎの使い方が分かり、文の中での的確に使うことができる。

3. 本時の実際

(1) ねらい

○ 読点を打つ場所が違うと、文の意味が違ってくることを理解することができる。

(2) 学習過程

学 習 活 動	指導主事の先生にお願いしたいこと
1. 今日の学習活動を知る。	○子供たちとあいさつをお願いします。
2. 読点の場所が違うと、意味も違ってくる例文について考える。	○例文の提示をお願いします。例えば、 【この店ではきものを買う。】などです。 ○最初は、読点のない文章を提示してどこに打つか考えさせ、その後、正解を提示して意味の違いを確かめてもらいたと思います。 【この店で、はきものを買う。】 【この店では、きものを買う】 ○3つの例文をお願いします。 ○時間は、1問目は15分ぐらい、2問目と3問目合わせて10分ぐらいだと思います。
3. 読点を打つ場所について知る。 ・文の切れ目 ・意味の分かるところ ・絵をよく見て ・息をつくところ (予想される反応)	○子供たちに考えさせてから、「点は、文の切れ目に打つ。」という文章も含めて(教科書にある文章)、子供たちの言葉でまとめて下さるようお願いします。 ※名前が分からないと思いますので、こちらで指名したいと思います。 ○あとは、プリントを書かせて答えを確かめるだけです。指導主事の先生とは終わりのあいさつをしたいと思います。
4. プリントで練習問題を書く。	※5分ぐらいでできるプリントを準備したいと思います。
5. 次時の活動を知る。	